

コラボで光る!

農業クロスX

☆ 5



山田厚志社長

また、環境・防災学習の一環として児童養護施設を対象にミカン狩り、中学生や障がい者福祉施設からの就業体験受け入れにも取り組んでいる。

本業生かし農地再生

観光農園 本格オープンへ

「建設業と農業は仕事量の季節的な変動や機械を扱う作業など元々親和性が強い」と語る山田社長は、09年から国の事業を活用して都市における市民農園の運営、高付加価値野菜の販売、6次産業化などに取り組んできた。

山田社長は「農業参入は採算が取れるまでに5年かかると思うが、地域貢献を通して直接、間接的に本業に貢献できれば全体としてプラスと考えることができる」と話す。農業収益を環境・防災学習の運営コストに充当し、CSR(企業の社会的責任)活動に積極的に取り組んでいる。

名古屋市 (株)山田組

【愛知】名古屋市中川区に本社を置く建設業の(株)山田組(山田厚志代表取締役)は、地域に根差した環境・防災学習を行ってきた。2012年10月には、都市農地を活用した持続可能な取り組みを目指すし、利用権設定で同市守山区にある75

57平方メートルの農地の権利を取得。地元名古屋市内にこだわって農地を探し、農業活用し、この農地を「東谷」を指す。

委員などの協力を得た。同社は重機やノウハウを、年夏に観光農園の本格オープンを目指す。

ルーベリ―栽培も始め、15

山・天空のアクリパークとして再整備した。梅や柿、柑橘類のほか、

東海

〔地域合同版〕

総局
愛知県農業会議
名古屋東区
白壁1丁目50
県白壁庁舎内
052(962)2841
岐阜支局
058(268)2527
静岡支局
054(255)7934
三重支局
059(213)2022



東谷山・天空のアクリパークの造成工事